

# 就任にあたってのご挨拶



松井 善典 先生

皆様、新年明けましておめでとうございます。4月からあざいりハビリテーションクリニックに赴任する松井善典と申します。地元野

瀬の出身で屋号は“亀吉”です。

「ただいま帰りました」がご挨拶としてふさわしい方も多いのではないのでしょうか。

滋賀医大入学時から旧東診療所の故小林先生のような診療所の医師を志しており、在学中に子供から高齢者までの様々な症状やよくある病気を診ることのできる家庭医療という専門分野があると知りました。卒業後はその家庭医を目指し北海道で7年間の研鑽を積み、昨年専門医となりました。

思い出せば大学卒業間近に畑先生とお会いし、いずれは皆様のお役に立てることを目標にしておりました。また一緒に赴任する宮地医師と出会ったのも同時期で、良き友人として大切な家庭医仲間として、地域や日本に貢献する目

標を語り合っておりました。このような縁に恵まれ故郷の診療所で働くことが出来大変嬉しく思っております。

4月からは従来の医療と福祉のサービスを基盤として、2名体制や家庭医であることを生かし、更にお役に立てる診療が提供できればと考えております。ひとまずは3つの事を考えております。

①午後の外来を早く開始し、冬場でも明るいうちに受診しやすい診療時間にする

②世界保健機構が提唱する「高齢者にやさしい診療所」という基準を参考に、高齢者の皆様とこども達にとって、利用しやすく安心感のある診療所をつくる

③様々な症状やよくある病気だけ診るのではなく、その症状や病気についてのお一人お一人の考えや気持ちを大切に、影響を受けるご家族の事も考えた個別的なケアを提供する

この3つ以外にも診療所のスタッフをはじめ、地域の皆様からもいろいろ教えて頂き、共に考え、皆様にとつての良い診療所に育てていきたいと思えます。

どうぞ末永くよろしくお願い申し上げます。

## 【北海道家庭医療学センターとは】

北海道家庭医療学センターは家庭医療を実践し、家庭医療を担う家庭医を育て、北海道・日本の家庭医療の発展に貢献するために設立された組織です。

平成8年の創設以来、都市部と地方の医療を担うとともに、数十名の家庭医を輩出し、北海道や日本の様々な学会／公的な会議／マスメディアなどで家庭医療をアピールしてきました。

北海道家庭医療学センターは3つのミッションに基づいて事業を続けています。

### ◇良質な家庭医療の実践

都市型・地域型など多様なフィールドを持ち、それぞれの特徴やニーズをふまえた診療を展開しています。

### ◇良質な家庭医の養成

家庭医を目指す医学生・研修医に広く教育プログラムを提供。特に家庭医療専門医の養成に力を注いでいます。

### ◇家庭医療の発展への貢献

研修医を育てながら再生産を繰り返す「地域循環型モデル」として北海道や国の諸機関からも高い評価を受けています。

※HPより抜粋

# 各事業所より2012年に当たっての抱負

## 通所リハビリテーション

新年明けましておめでとうございます。昨年も数多くの方にご利用いただき心より感謝申し上げます。私たち通所リハビリテーションのスタッフは、ご利用者様の心と身体の健康を保つためのお手伝いをさせて頂き、住み慣れた在宅での生活が、少しでも主体的で快適なものとなる様に、ニーズに応じたより良いサービスを提供させていただきたい所存でございます。今年はお利用者様のご希望やご要望などを取り入れた趣味創作活動にも力を入れ、ご利用者様に達成感を感じていただけたら、充実した気持ちで過ごしていただけるような時間を提供できればと考えています。ご要望などございましたら、お近くのスタッフにお伝え下さい。



責任者 川崎喜代司

## 訪問看護ステーション

あけましておめでとうございます。昨年は看護だけでなく訪問リハビリを利用して頂く方が増え新しい方との出会いがあり、とても刺激のある1年でありました。人生の先輩であるみな様に会いお話をすることでたくさんの勉強もさせてもらいました。今年も学ばせてもらったことを少しでもお返しができるように元気で過ごせるようお手伝いさせていただきます。また訪問看護ステーションは病気や、体のことを相談するところというだけでなく気楽にいろいろお話ができる人や場所でありたいと思います。今年もよろしくお願ひ申し上げます。



管理者 安藤貴子

## 居宅介護支援事業所

早いもので、ケアマネジャーの事業所として開設してから今年が9年目となります。旧浅井町が長浜市となり、木之本や余呉も合わせて大きな長浜市へと変わるなど、色々な変化がありました。また、大きな地震があり、原発事故など人事ではないことも起こりました。世の中や環境は変わっていきますが、この地域で過ごされる在宅療養を続けておられる皆様と変わらない交流を続けさせていただきたいと思っています。今年も宜しくお願ひ致します。



管理者 中堀千賀子

## グループホームいろいろ庵

今一度いろいろ庵の玄関に掲げられている理念を頭におき仕事をするように周知徹底した上で、管理者からの行事案で動くだけでなく、各自が自分の意見を表に出して職員全員でアイデアを話し合える機会を増やし、それらを受け入れ即行動に移し達成する事で、職員一人一人が達成する喜びを知り自信が付き、仕事への意欲が向上するようにしていきたい。そうすることにより、職員は仕事を楽しみ、利用者様、ご家族様は、いろいろ庵が居心地の良い場所になるよう努力していきたい。又、ご家族様を始め地域の方々とも更なる交流を目指すべく、運営推進会議のメンバーにも協力して頂き、社会活動への参加や防災訓練へのご家族、地域住民の参加を実現させたい。



管理者 清水秀一